

平成27年度

決算報告書

国立大学法人 鳴門教育大学

## 平成27年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,631	3,653	22	(注1)
施設整備費補助金	44	50	6	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	18	12	△ 6	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	25	-	
自己収入	746	736	△ 10	
授業料、入学料及び検定料収入	666	654	△ 12	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	80	82	2	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	128	148	20	(注6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	20	43	23	(注7)
計	4,612	4,667	55	
支出				
業務費	4,397	4,350	△ 47	(注8)
教育研究経費	4,397	4,350	△ 47	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	69	75	6	(注9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	18	12	△ 6	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	128	154	26	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	4,612	4,591	△ 21	
収入-支出	-	76	76	

## ○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、主として、特別経費が措置されたため、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、主として、災害復旧費が措置されたため、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、主として、予算段階で予定していた補助金が交付されなかったため、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として、大学院での入学料収入及び検定料収入が減少したため、予算額に比して決算額が12百万円少額となっています。

(注5) 雑収入については、主として、科学研究費補助金間接経費が増加したため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、国及び国以外からの受託事業の受入が増加したため、予算額に比して決算額が20百万円多額となっています。

(注7) 目的積立金取崩については主として、平成26年度未処分利益の目的積立金承認分を学生の教育環境整備に充てたため、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。

(注8) 業務費については、主として、教育研究経費において経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が47百万円少額となっています。

(注9) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。

(注10) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。

(注11) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。また、決算額154百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額16百万円を含んでおります。